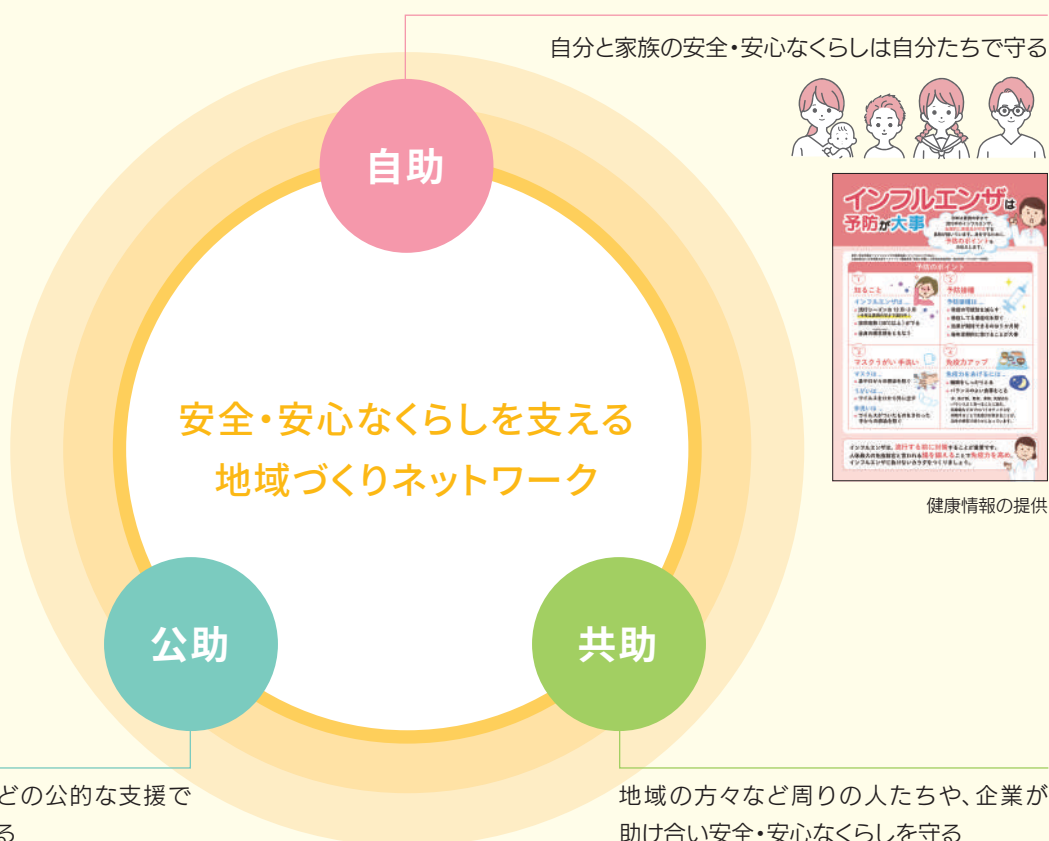


「共助社会の担い手」として

共助社会で私たちにできること

私たちは「共助社会の担い手」として、健康と美のお届けを通して地域の方々と助け合いながら、安全・安心に暮らせる地域づくりを行っています。「自助」に対しては、ヤクルトのお届けと共に健康情報の提供を行い、自分たちと家族の安全・安心な暮らしを守るための啓発を行っています。また「公助」と「共助」をつなぐ活動に力を入れ、自治体や消防・警察、各種団体と連携し、安全・安心な暮らしを支える地域づくりネットワークの円滑な運用を目指しています。



自治体や消防・警察などの公的な支援で安全・安心な暮らしを守る



地域の皆さまの見守りチラシの配布

地域の方々など周りの人たちが、企業が助け合い安全・安心な暮らしを守る



公助と共助をつなぐ

地域包括連携協定を締結して、協働による地域づくりを推進し、あらゆる分野で安全・安心な暮らしに向けた相互連携を行います。

2023年度までに1県9市8町7村2団体と締結



群馬ヤクルトのビジョンについて

ヘルスケアカンパニーへの進化とプラットフォーム型ビジネスの構築

ヤクルトの自律性・主体性・独自性を保った「ヤクルト・プラットフォーム」。地域に生きる人々の生活の質の向上、地域課題の解決に寄与できる事業、サービスの場を、地域社会の諸団体との「つながり」を通じて提供します。

プラットフォーム型ビジネスモデル

ヤクルトは事業領域の中で共助社会の担い手として、地域の人・企業・自治体と多重複合的さまざまな形の「つながり」を持ち、社会的課題を解決するネットワークの形成・コミュニティの発生・新たなサービスの開発を通じて、住みやすい町と健康で快適な生活を提供するプラットフォームを目指す。



キーワードは

助け合える関係性

人とのつながり

世代間交流

ヤクルトの普及を通じて社会的課題を解決する

2021年度より中期経営計画を策定

ビジョン2035

「共助社会の担い手になる」

乳製品人口比20%を目指して

群馬ヤクルトは、ヤクルトグループ創業100周年・群馬ヤクルト創業80周年を迎える2035年をビジョン実現の年と定めた。目指す姿は「共助社会の担い手になる」乳製品人口比20%を目指す。ビジョン実現のために、今年度を新創業元年と位置付け、2035年までの15年間で5つのステージに分け、3年ごとの中期経営計画を策定した。

群馬ヤクルトのSDGs

群馬ヤクルトの使命は、一人でも多くのお客さまに「健康と美」をお届けすることです。さらに、創業時の想いや活動指針に基づいて全従事者が活動しています。

特に関係の深いSDGs6つの目標

すべての人に健康と福祉を



健康に役立つ商品の販売・お届けを通じて、一人でも多くのお客さまの健康に貢献します。

質の高い教育をみんなに



子どもからご高齢の方まで、さまざまな世代に正しい健康情報を提供します。

ジェンダー平等を実現しよう



ヤクルトスタッフの労働環境を整備し、女性が活躍する社会の実現を目指します。

働きがいも経済成長も



事業の生産性を高めつつ、従事者がいきいきと働く会社であり続けます。

住み続けられるまちづくりを



地域社会の一員として、住みよいまちづくりに貢献します。

パートナーシップで目標を達成しよう



関係する皆さまとのつながりを大切に、目標達成を目指します。

SDGs アクション事例

対話による健康のお届け

ヤクルトのこだわりは直接商品をお届けすることです。対話を通じて自分の言葉で価値をお伝えしています。



社会貢献活動

地域のことをよく知るヤクルトスタッフは、地域の見守りの担い手として期待されています。



働きやすい環境づくり 健康経営の実現

従事者がやりがいをもって働けるよう、労働環境の整備に取り組んでいます。



協定に基づいた県市町村との取組み

各自治体と包括連携協定を締結して、協力しながら地域づくりを行っています。



SDGsぐんま ビジネスプラクティス(2022年度認定)

県内企業の先進的取り組み「ぐんまビジネスプラクティス」に、地域貢献/地域共創形ビジネスのカテゴリーで認定されました。

カテゴリー	地域貢献/地域共創形ビジネス
分野	医療・介護 まちづくり・コンパクトシティ 共創協働 健康・ヘルスケア

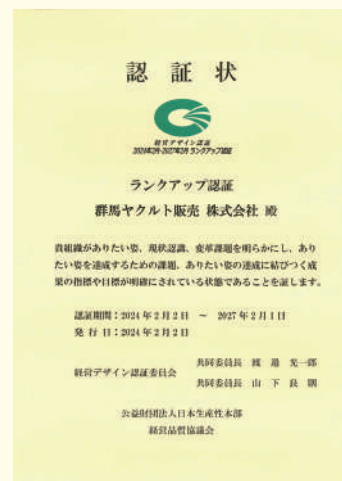


経営デザイン認証の取得

第6回「経営デザイン認証」組織 上位認証ランクアップ認証を取得

本認証は、経営品質協議会が2018年度に創設した制度で、組織のありたい姿や変革課題等を「経営の設計図」に描き、明確化していると認められた組織を認証し、年1回、発表しています。

認証組織は、変化の激しい環境下においても、「経営の設計図」を描いて自らの経営を俯瞰し、自組織の強みやありたい姿への道筋を明確化することで、経営の改善、改革につなげています。また、「経営の設計図」作成の取り組みを通じて、事業承継や次世代経営幹部育成などの課題に役立てています。今回の認証では、「構造的課題を抱えつつも、健康社会実現の使命に基づき、理念の浸透と育成を進め、地域密着型宅配サービスを実施し、卓越性を発揮している」という強みと特長を評価いただいたの取得となりました。



上位認証 ランクアップ認証基準

「ありたい姿」の達成に向けて、「戦略(道筋)」「組織能力」「顧客・市場」「提供価値」が組織として明確に「見える化」されていると認められた組織を認証。

経営の設計図サマリー

1. これまでを振り返る

- A. 歴史を振り返る
- B. 強み・価値観を探究する
- C. これまでの成功のストーリーをまとめる
- D. ビジネスモデル(収益を生む仕組み)と環境変化を理解する

2. ありたい姿

- E. A～Dを踏まえて「ありたい姿」を描く

3. 戦略

- F. ありたい姿に向けた「戦略(道筋)」を創る

4. 組織能力

- G. ありたい姿から「組織能力」を明確にする

5. 顧客・市場

- H. ありたい姿から「顧客・市場」を明確にする

6. 顧客価値

- I. ありたい姿から「顧客価値」を明確にする

7. 組織変革目標

- J. E～Iを踏まえて「組織変革目標(重要課題と達成目標)」を設定する

健康経営優良法人2024(ブライツ500)について

2020年度から「健康経営優良法人(中小規模部門)」に4年連続認定されています。健康経営優良法人とは、経済産業省の日本健康会議から、「地域の健康課題に即した取組みや健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している」として認められた企業です。

健康経営優良法人 ブライツ500とは？

健康経営優良法人(中小規模法人部門)の中から「健康経営優良法人の中でも優れた法人」かつ「地域において、健康経営の発信を行っている企業」として優良な上位500法人のことで



認定基準

健康経営優良法人の中でも優れた企業であることを重視し、選択項目15項目中13項目以上適合していることを条件とする



以下のウエイトで配点し上位500法人を選定する

分類	ウエイト
健康経営の評価項目における適合項目数	6
健康経営の取組みに関する自社からの情報発信	3
健康経営の取組みに関する外部からの依頼による情報発信	1
PDCAに関する取組み状況	8
経営者・役員との関与の度合い	2

健康経営活動の取組み

医療法人社団美心会黒沢病院様

群馬ヤクルト様と黒沢病院は、健康経営に取り組む取引先として、企業連携を展開しております。その一環として、12月度の経営戦略推進会議にて、管理職の皆さまを対象に健康経営研修「女性特有の健康課題について」講演をさせていただきました。男性管理職が多い職場で、女性のからだの仕組みや、月経前症候群(PMS)、不妊治療、子宮がん、乳がんなどについて理解を深めていただくことは、女性が働きやすい職場であることの重要な部分です。また研修会では、知識を深めた上で、女性の健康課題についてどのような取り組みができるのか、グループワークをしていただきました。そこでは、「私たち管理職は、女性の健康課題について勉強したので、これからは遠慮せず何でも相談してください。」と力強い発表がありました。新たに「さくらMINTプロジェクト」がスタートしたと伺いましたので、これから益々企業連携を密にして、健康経営の推進を図っていききたいと思います。大変御世話になりまして、ありがとうございました。



医療法人社団美心会黒沢病院 総務部健康管理室
心理カウンセラー・保健師
高崎健康管理センター保健師スーパーバイザー
高野雅子様

なりたい自分になろう!90日チャレンジ!!

従事者が健康的にいきいきと活躍できるよう、管理栄養士による健康プログラムを実施しています。対象者には、週に1度のチャレンジミーティングを開催し、自分に合った健康習慣を見つけ、実生活の中で挑戦・継続していただきます。2023年度は初の試みとして、日頃ヤクルトのお届けをしているヤクルトスタッフに対しマンツーマンで実施しました。

6期生 2023年4月～7月

Q.意識や体調の変化はありましたか？



健康の内容を分かりやすく教えてもらったので、今後も常に意識していこうと思っています！健康で長生きしたいと思いました。体調もすこぶる元気で調子が良くなりました。

7期生 2023年9月～12月

Q.大変だと感じた際に頑張れた理由は？



すごく大変とったりはしませんでした。一緒に考えてくれた高橋さんの事を思ったり、自分のために頑張ろうと思えたこと、マネージャーやセンターの仲間の応援も大きかったです！

従事者向け健康セミナー

管理栄養士による、内勤従事者向けの健康セミナーも今年で7年目を迎えました。今回のテーマは「良い睡眠でパフォーマンス向上」で、睡眠の面から業務の効率アップを図ってもらうため、生活習慣のポイントを伝えました。また、今回の汁物は山形県の郷土料理「芋煮」で1日の1/3の野菜を使用し、栄養たっぷりに！参加した社員からも大変好評でした！



里芋と牛肉のうまみたっぷりな「芋煮」